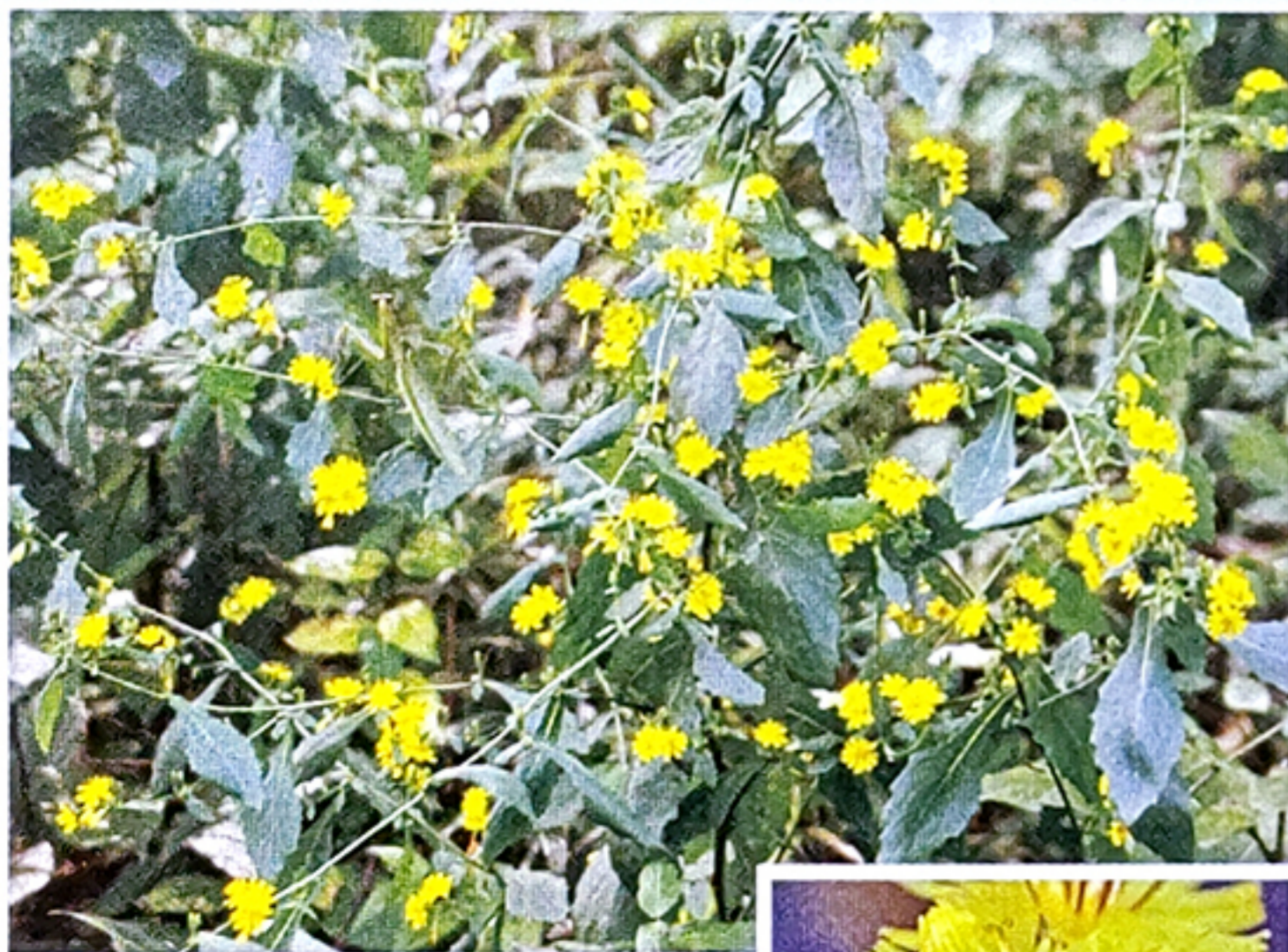


ニュータウン四季折々11月

協力 茅ヶ崎公園自然生態園

※このコーナーでは開発が進むニュータウンの中、昔ながらの里山を残すために整備された自然生態園の動植物や昆虫などを通し、四季の移ろいを紹介します。

黄色い小さな菊の花



▲ヤクシソウ(キク科)



▶花

ヤクシソウ「薬師草」は、秋の陽ざしの中、明るい黄色がよく映えて季節の移ろいを感じさせる。花は、キク科の特徴で、10～20個の小花(しょうか)が集まって直径1.5cmほどの花を一つつくる。咲き終わると花は下を向いて、やがて長さ3mmほどのタネができ、白い冠毛で風に飛ぶ。秋のうちに発芽し、冬を越して成長し、花を咲かせた後に枯死する越年草(えつねんそう)である。

薬師草という名の由来は、薬師堂のそばで見つかったからとか、葉が薬師如来の後光のようだからと言われ、諸説があって不明。日当たりのよい所を好む。生態園では園路の脇など、数カ所で見られる。